

モーニングセミナー

「東日本大震災の災害報道と教訓」

～次の大地震への備えは？～

江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授
名古屋大学減災連携研究センター客員教授

隈本邦彦



K. Kumamoto
Hokkaido University



Communicators in
Science and Technology
Education Program



自己紹介



- 1980年 NHK入局
- 1986年 報道局特報部(気象庁担当)
- 1988年 報道局社会部(気象災害担当, 厚生省担当)
- 1990年 報道局科学文化部記者 デスク
- 1996年 静岡放送局放送部副部長
- 2000年 名古屋放送局報道部副部長
- 2005年 ラジオセンター ニュースデスク
- 2005年 北海道大学 科学技術コミュニケーター養成ユニット
特任教授
- 2008年 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部教授
- 2011年 名古屋大学 減災連携研究センター客員教授



想定外ではなかった東日本大震災

災害報道に必要な歴史の検証

くまもと・くにびこ

江戸川大学メディアコミュニケーション学専攻
校・名古屋大学減災連携研究センター客員教授。
1967年、福岡県生まれ。上野大学理工学部卒。
1980年、NHK入局。
報道記者、社会部、編集室小室などを経て

科

学報道や防災報道の世界に長く身を置いた私からみて、今回の東日本大震災の報道で強い違和感を覚えるのが、マスメディア各社が巨大地震の発生とそれに伴う大津波を、「想定外の出来事」として報じていることだ。例えば、地震翌日の読売新聞朝刊は「東日本巨大地震 地震学者「常識超えた」という見出しで「想定を超える巨大地震の発生に、専門家たちも衝撃を受けている。」「これほど破壊領域が広がるというのは、専門家の常識を超えている。地震学者の敗北だ」と想定外を強調するトーンになっている。同じ日の毎日新聞朝刊も「宮城県沖から南の茨城県沖まで」

複数領域が連動して発生する地震は想定外だった」と国の地震調査委員会の阿部勝征委員長（東大名誉教授）の談話を大きく伝えた。

確かにマグニチュード9.0の地震が日本近海で起きたのは観測史上初めてであったし、東北地方太平洋沖の複数の震源域が同時に破壊して地震を起こすということは、ほとんどの地震学者は予想していなかった。しかし大震災の後、多くの政治家、行政担当者、原子力の専門家までもが「これほどの災害は『想定外』だった」と発言していることに対して、（その真偽を吟味せず）無批判に伝えるだけでは、科学ジャーナリズムの名に値

しないといっても過言ではないだろう。実は、今回各地を襲った大津波による被害も、福島第一原子力発電所で進行しつつある現状も、過去の災害の歴史や最新の科学データを謙虚に受け止めていれば、当然、想定されてしかるべきものであったのだ。「想定外」ではなく、単なる「未想定」に過ぎなかった根拠がいくつもあ

明治三陸津波の遡上高は38・2メートルだった

まず三陸地方各地を襲った大津波。巨大な防潮堤をも乗り越え町並みを次々と

3. 11に何が起きた



- 巨大地震・津波が「生中継」で全国に伝えられた
 - ⇒ 災害史上初・報道史上初の出来事
- 緊急地震速報、大津波警報
 - ⇒ 迅速に伝えられた。だが十分に伝わったのか。

[NHK映像](#)



釜石沖海底ケーブル式地震計システムで観測された海面変動

東京大学地震研究所

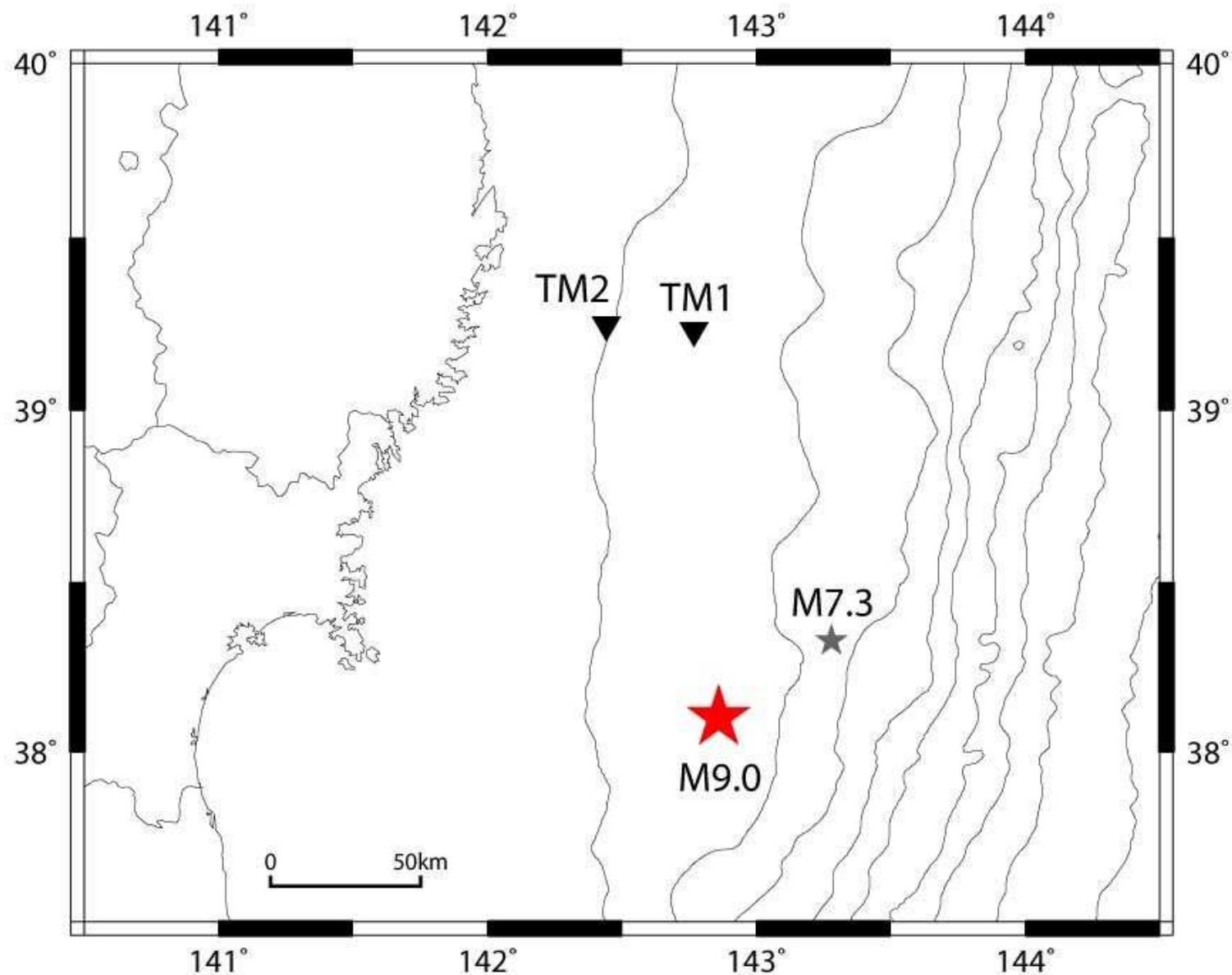


図1 釜石沖ケーブル式海底水圧計の位置

波高 (m)

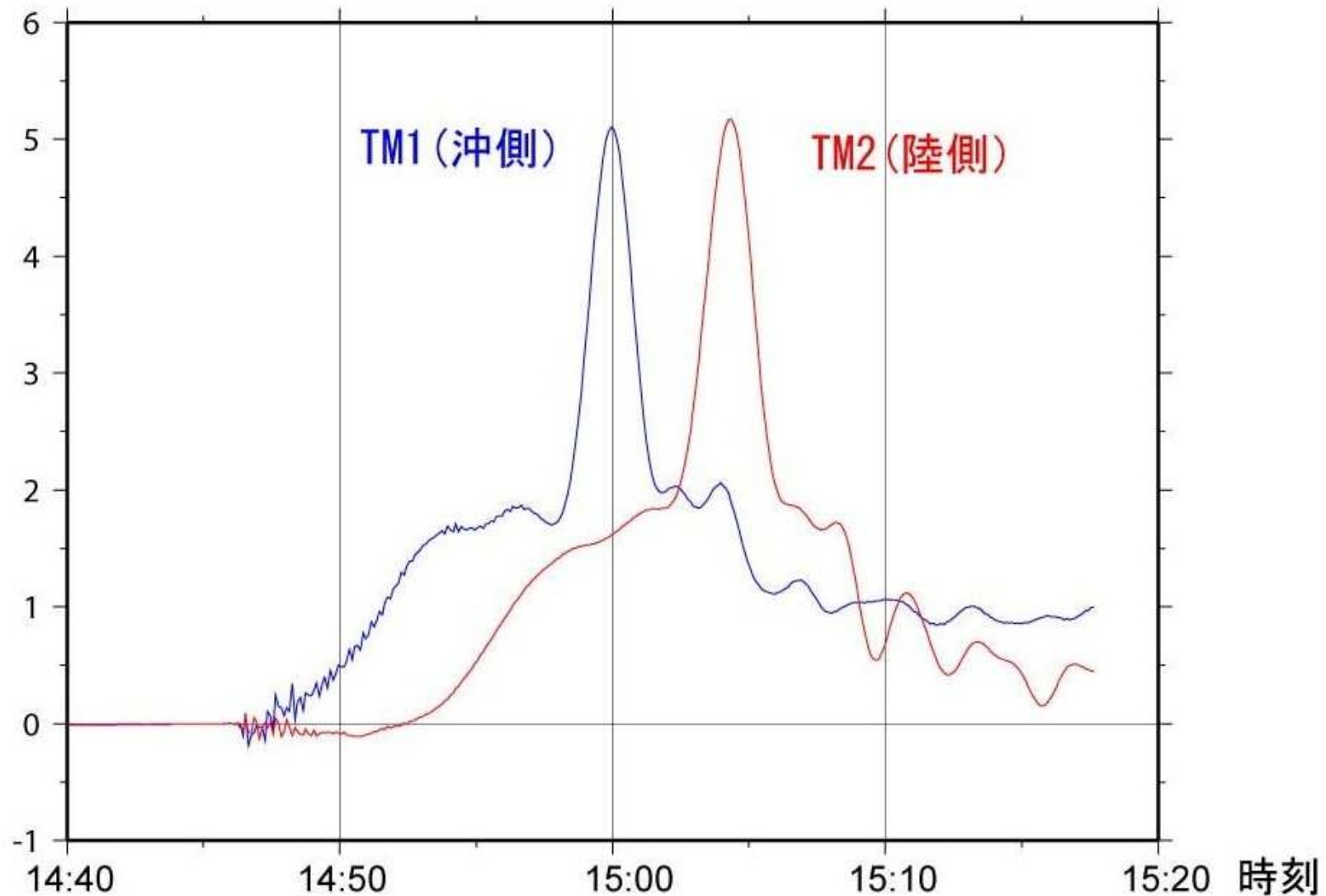


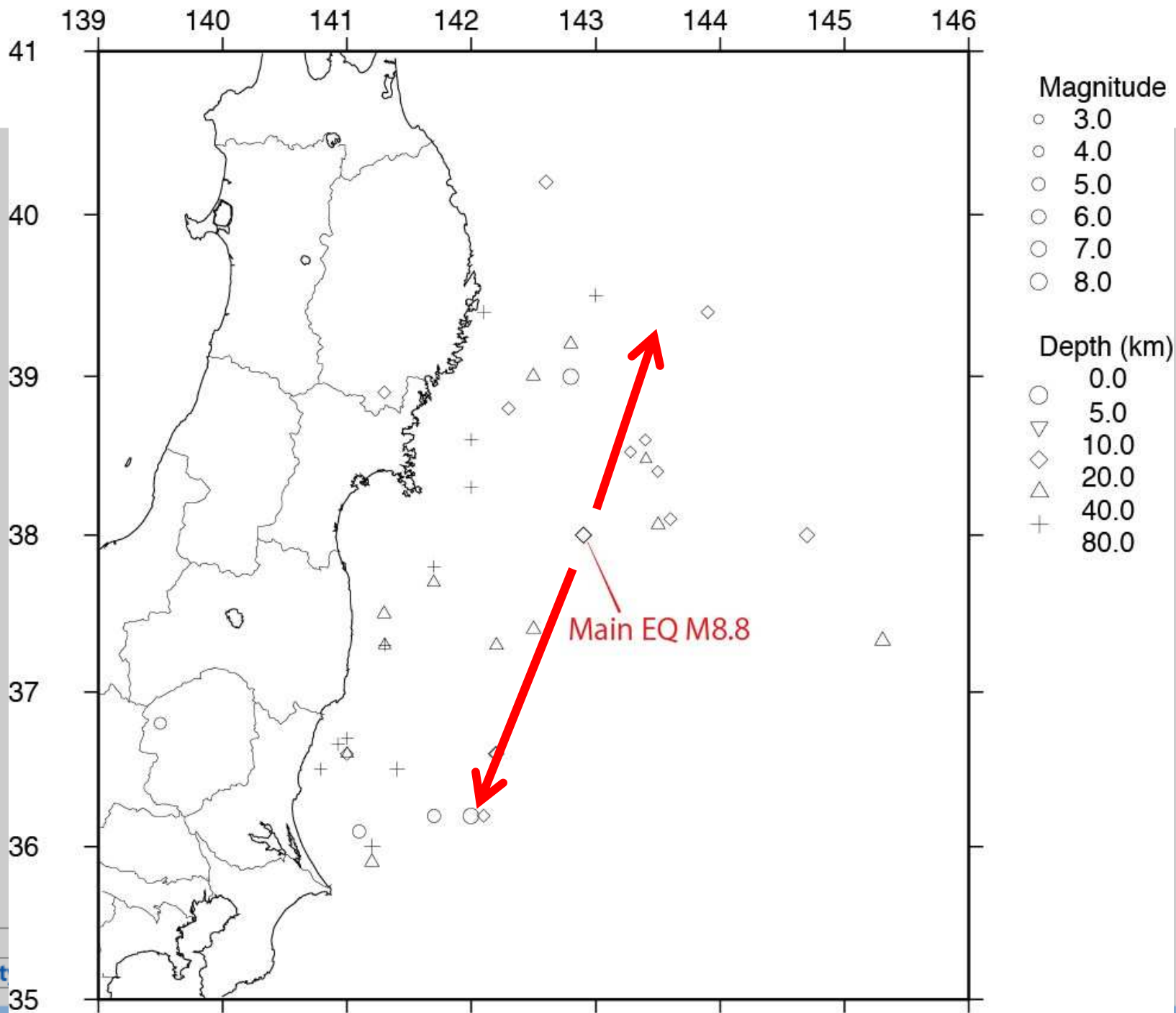
図2 海底水圧計の観測記録。14時46分頃、本震(M9.0)の振動が水圧計に伝わり、TM1(海寄り)では、その時から徐々に海面が上昇している。約2m上昇し、約11分後にはさらに約3m急激に上昇し、合計約5m海面が上昇した。約30km陸寄りに設置されているTM2では、TM1から約4分遅れて同様の海面上昇を記録した。

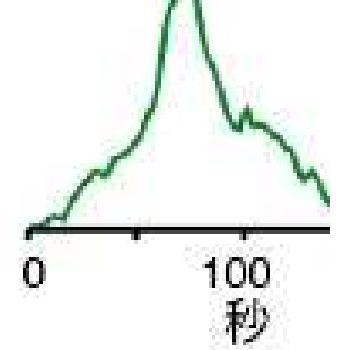
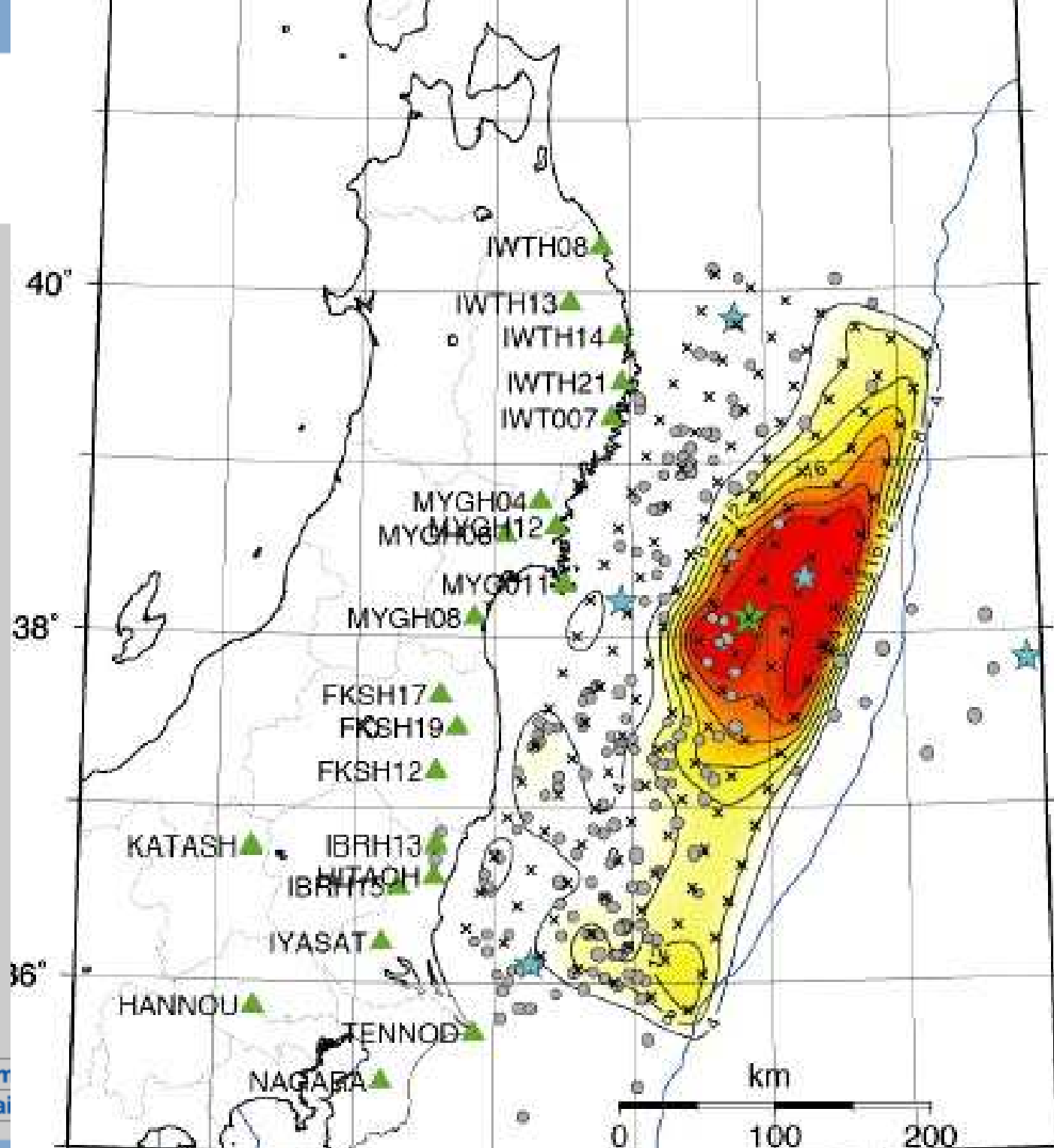
緊急地震速報の限界



- 強い揺れに襲われる地域は時間的余裕が無い
- 時間的に余裕のある地域はあまり揺れない
- 発生後極めて短時間で規模を判断する
→ **M7程度で飽和？**
- 巨大地震を過小評価してしまう

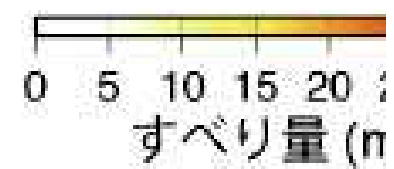






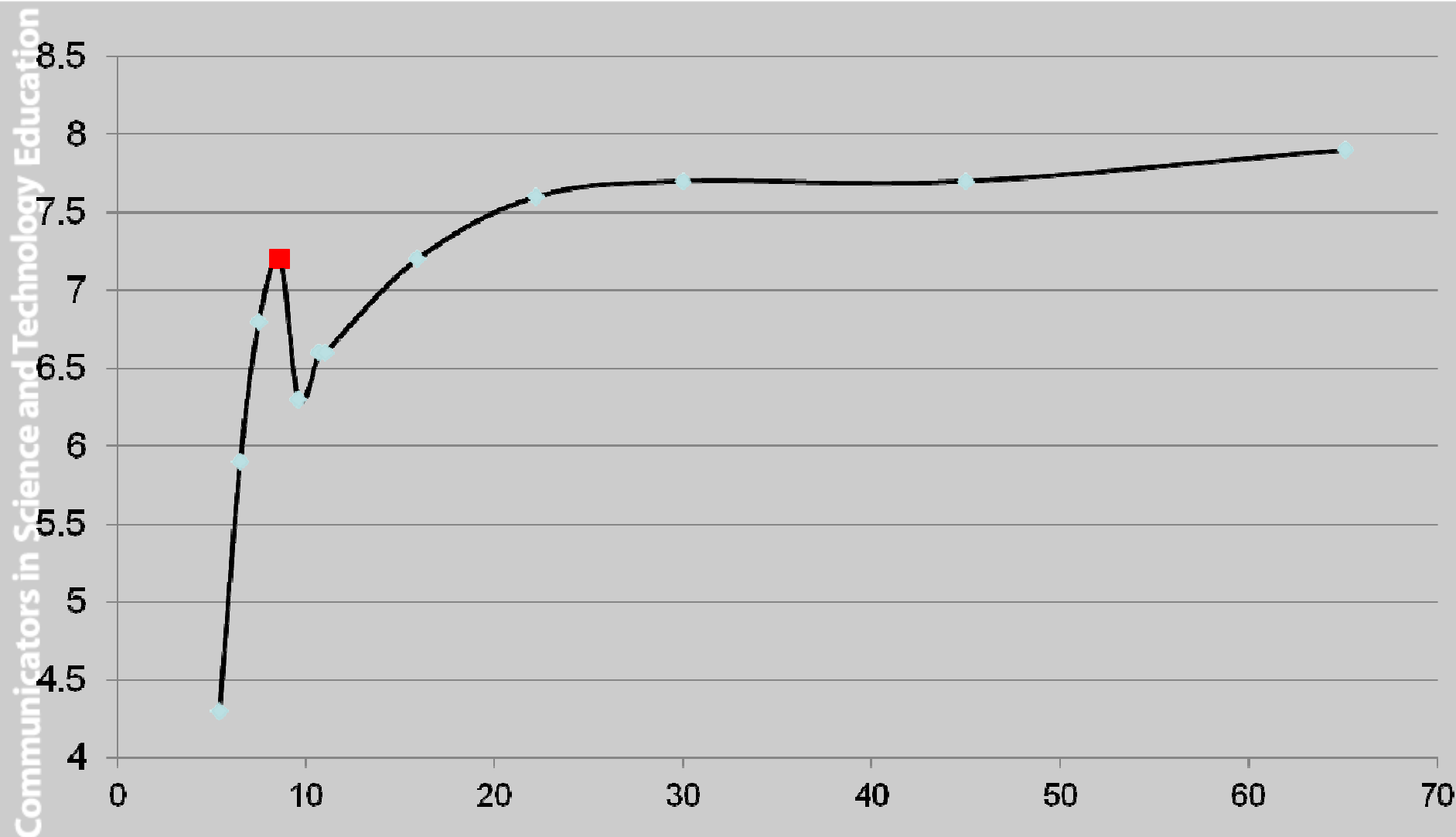
- ★ 本震の破壊開始点
- ★ 3月9日以降の M7
- 本震発生から1日 M5以上
- × 各小断層の中心点
- ▲ 解析に用いた観測

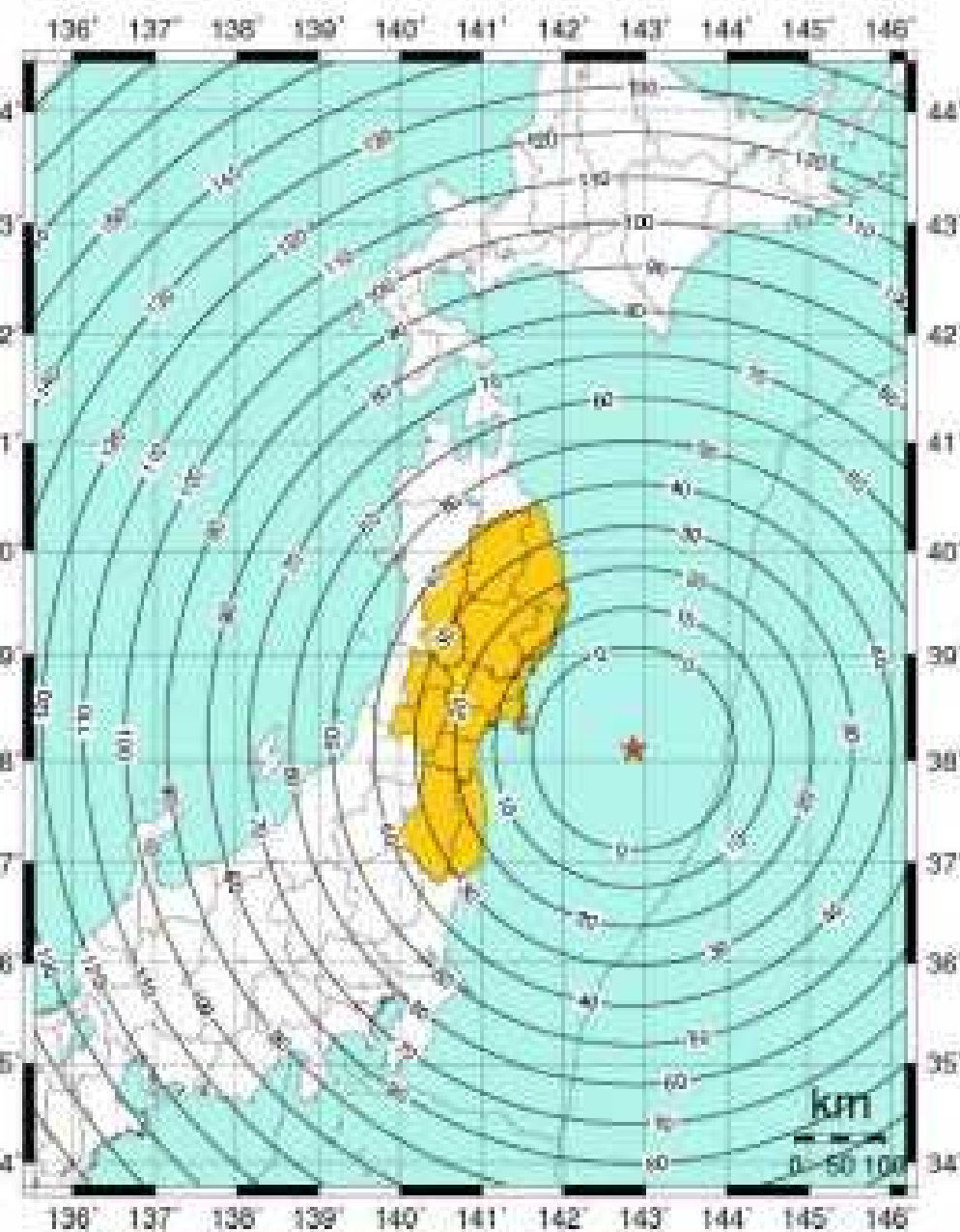
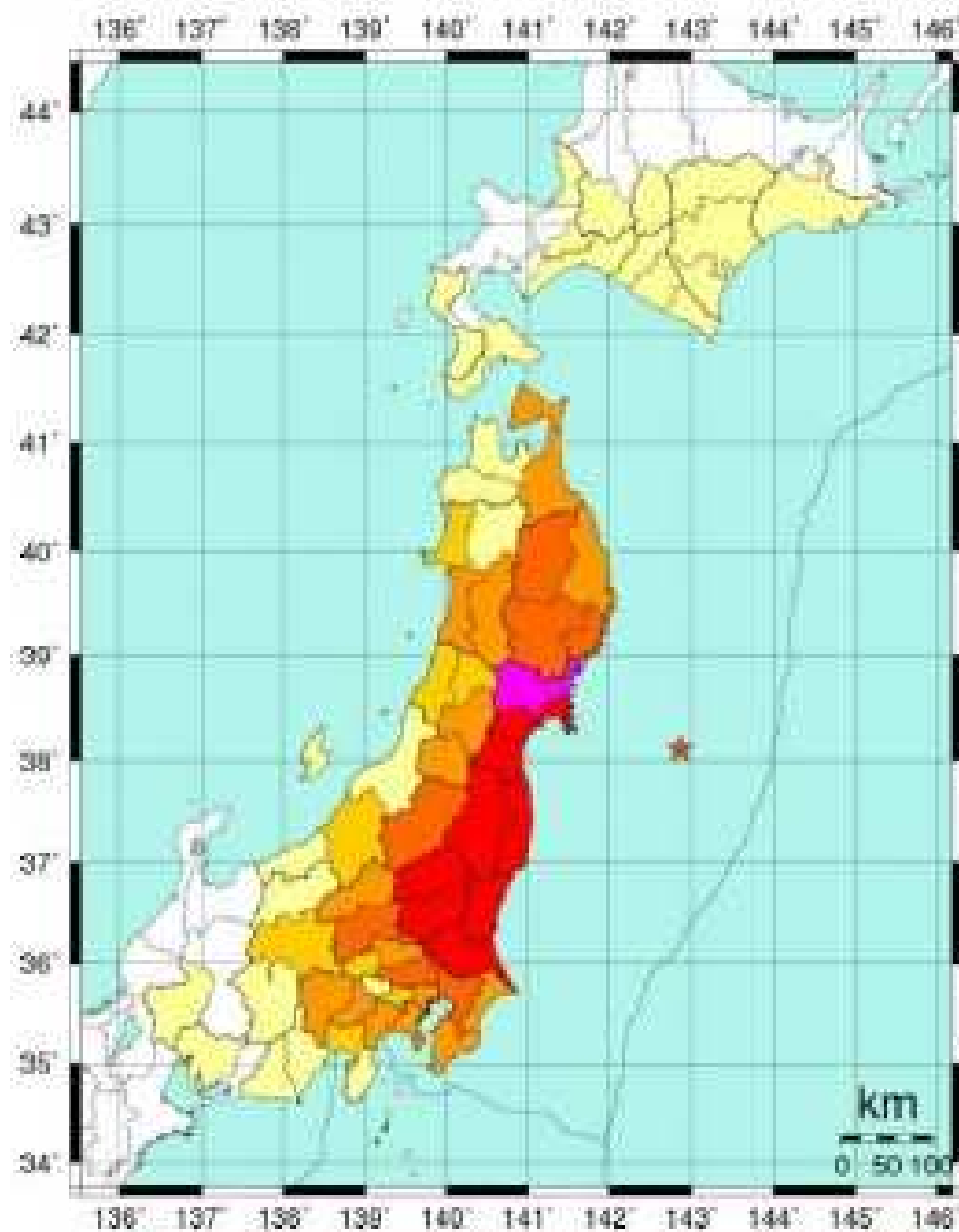
$M_0 = 3.4 \times 10^{22} \text{ N}$



コンターの間隔

検知8. 6秒後に、M7. 2として警報





★ : 震源

緊急地震速報(警報)を発表した地域

4 5弱 5強 6弱 6強 7

津波警報も過小評価



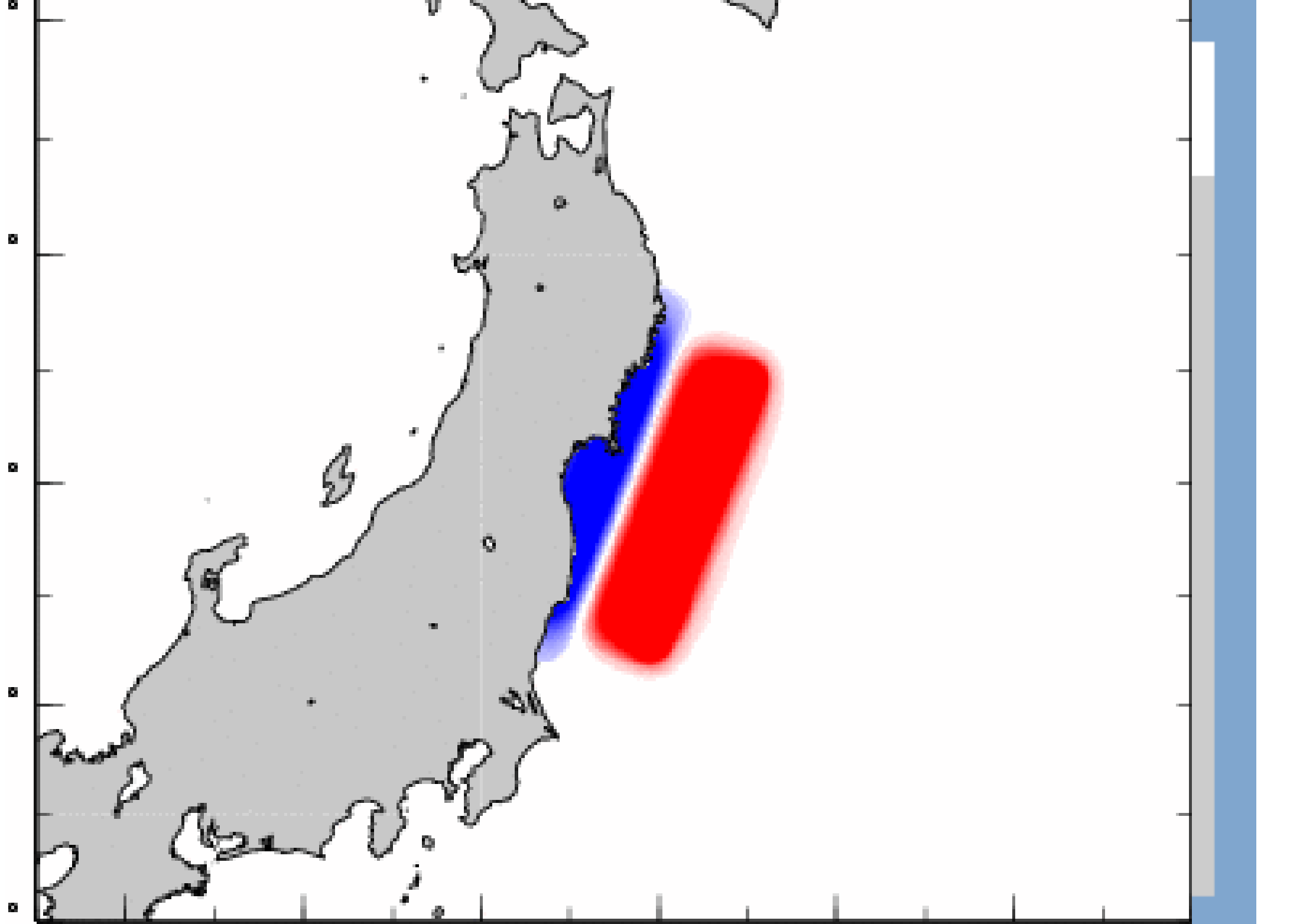
第1波到達予想時刻・予想高さ

大津波警報 (予想)

岩手県	到達と推測	3m
宮城県	午後 3:00	6m
福島県	午後 3:10	3m

津波警報

千葉県九十九里・外房	午後 3:20	2m
伊豆諸島	午後 3:20	1m



結局のところ・・・

過去の災害の教訓に正しく学び
起こり得る事態に備えた人だけが生き残れた



釜石東中学校



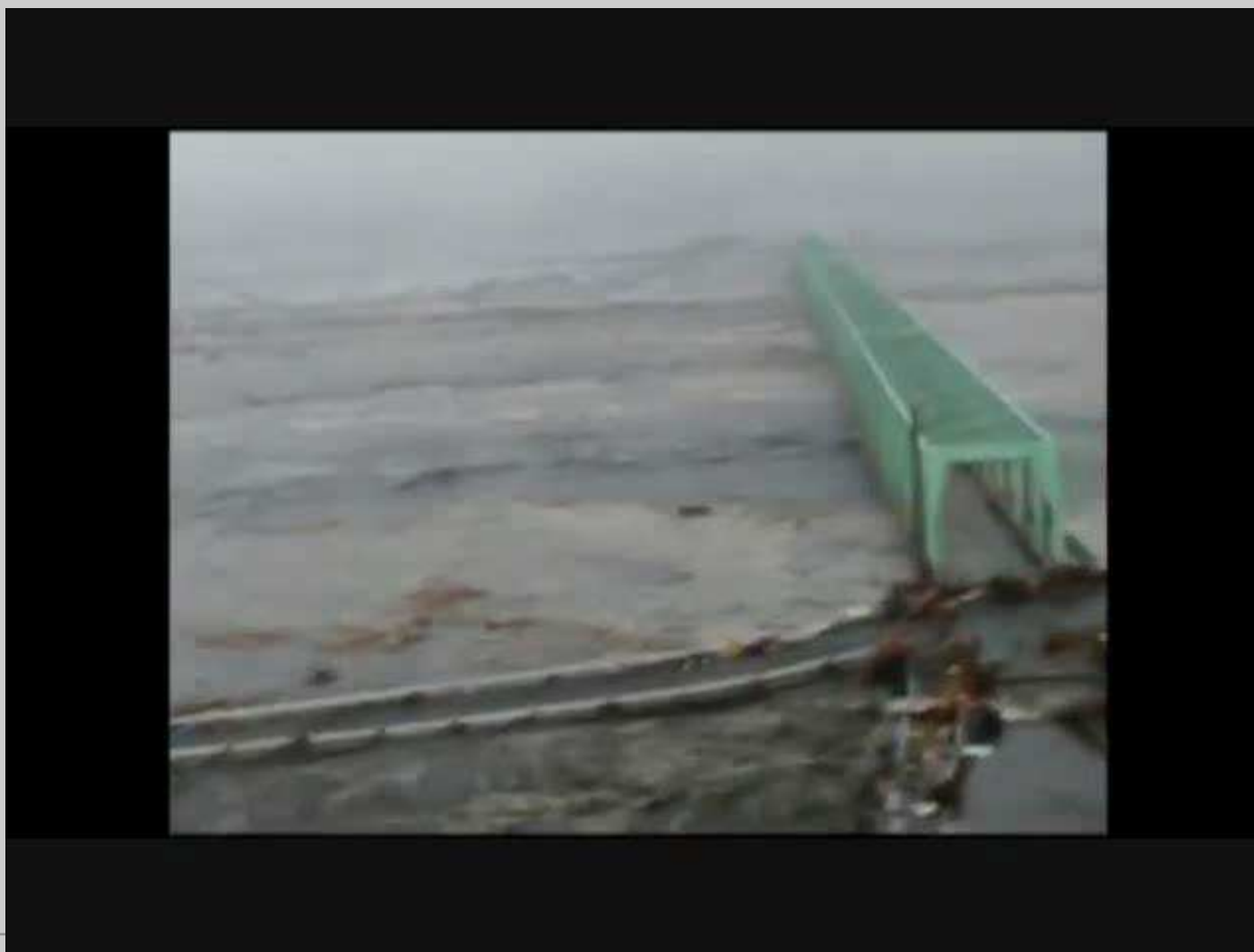
K. Ku
Hokkaido University



石巻市大川小学校



石巻市大川小学校付近の津波





石巻市立大川小学校

100 m

Image © 2011 DigitalGlobe

©2010 Google

想定をしていないと被害が多い

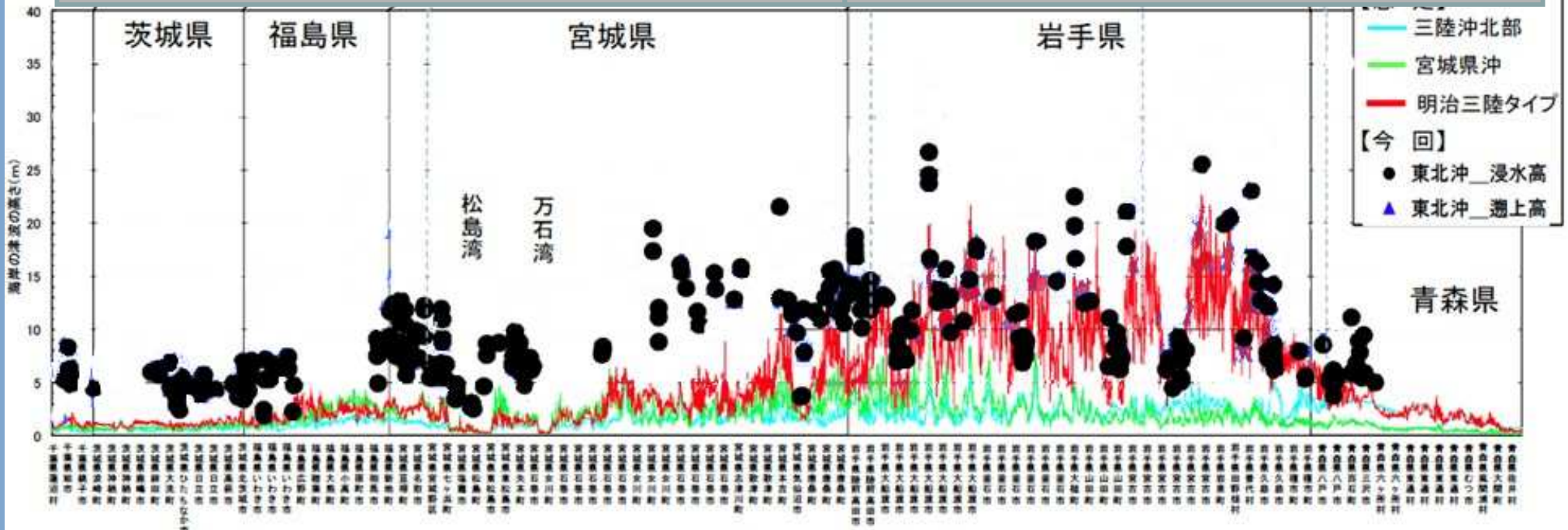


中央防災会議資料



死者・行方不明 13500人(7割)

死者・行方不明 6200人(3割)



結局のところ・・・

過去の災害の教訓に正しく学び
起こり得る事態に備えた人だけが生き残れた



現代日本人にとって

1時間目の授業が **阪神・淡路大震災** 都市型・耐震性

2時間目の授業が **東日本大震災** 津波・広域・原発

それぞれの教訓に正しく学んでいるか？

1時間目の授業内容を忘れていないか？

クイズ



- 東日本大震災の人的被害(死者＋行方不明者＋負傷者の数)は、阪神・淡路大震災の何倍か

()倍

- 東日本大震災の建物被害(全壊・半壊の家屋数)は、阪神・淡路大震災の何倍か

()倍



クイズ



- 東日本大震災の人的被害(死者＋行方不明者＋負傷者の数)は、阪神・淡路大震災の何倍か

(0.5)倍

- 東日本大震災の建物被害(全壊・半壊の家屋数)は、阪神・淡路大震災の何倍か

(1.5)倍

